GREEN×EXPO 2027
（2027年国際園芸博覧会）

施設利用ガイド

クラフト館・A

第0稿 発行：2026年11月2日

本ガイドの記載内容は、2026年10月現在のものです。
今後、変更などが生じる可能性がありますので、ご了承ください。

EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

©Expo 2027

クラフト館・A　施設利用ガイド

1. 基本概要

1. 基本概要

1)イベント主催者の皆さまへ

「クラフト館・A利用ガイド」(以下「本ガイド」という。)は、2027年国際園芸博覧会(以下「本博覧会」という。)において、皆様にクラフト館・A(以下「本施設」という。)でイベントを実施していただくにあたり、事前準備から実施に至るまで、円滑な作業を行っていただくためのものです。記載内容を十分にご理解のうえ、実施運営の計画、作業を進めてください。

なお、本ガイドの記載内容は、2026年10月現在のものです。今後、修正、変更が生じる可能性があることをご了解ください。なお、記載事項に修正・変更が生じた場合は、あらためてご案内します。

本施設でのイベント実施には、順守や配慮が必要なさまざまな事項があります。本ガイドの各規定を充分にご理解のうえ、実施されるイベントはもとより来場者の安全面にも配慮した、円滑な実施運営を行ってください。

本ガイドでは、本施設で実施されるさまざまな事業やイベントを「イベント」と称し、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会を「協会」、本施設の利用者(出演者、イベントスタッフ、イベント関係者、各事務局・代理店)を「イベント主催者」と称します。
また、本番にむけた搬入作業・運営・搬出作業に至るイベント主催者によるすべての作業を「実施運営」と称します。

① 事前準備から実施運営までイベント主催者の責任において行ってください。

② 本施設の利用に伴い、施設の外観や設備を変更・移動した場合は、イベント主催者の責任において原状回復を行ってください。
また、本施設・設備を損壊した場合には、イベント主催者は賠償責任を負うものとします。

③ 定められた期限までに実施計画書類を提出してください。

④ 博覧会会場内に立ち入るには、関係者入場証(AD証)などの各種申請が必要

⑤ 本博覧会会場の開場時間は9時30分～21時30分です。
イベントの本番可能時間は原則として、9時30分～20時30分の範囲での設定となります。
実施運営にあたっては起こりうるさまざまな状況を想定し、安全対策を行ってください。

⑥ 本施設では以下のイベントおよびイベントに係る行為を禁止します。
a. 実施内容について、公序良俗に反する内容、法律・条約などに違反する内容
b. 警備上問題があると思われる内容
c. 特定の国、団体、企業に対しての誹謗や中傷
d. 来場者や施設などに危険が及ぶと思われる内容
e. 応募企画から極端に逸脱する内容
f. 上記に掲げるもののほか、管理運営上支障があると認められる内容

⑦ 企画・実施にあたっては、「サステナビリティ戦略」、「調達コード」、「資源循環の考え方」をご確認いただき、未来社会を見据えたGREEN×EXPO 2027の名にふさわしい、各取組の推進をお願いします。

⑧ イベント実施時には本ガイドおよび各種ガイドラインの規定遵守を原則とします。内容について、不明瞭な点などが生じた場合はお申し出ください。

1. 基本概要

2)イベント実施における視点

テーマ

幸せを創る明日の風景
Scenery of the Future for Happiness

本博覧会は、地球環境の限界(プラネタリー・バウンダリー)を意識し、
生物多様性の保全(ネイチャーポジティブ)、脱炭素(カーボンニュートラル)、
循環型経済(サーキュラーエコノミー)などを推進することで、
「幸せを創る明日の風景」の実現を目指す国際博覧会です

イベント参加の視点

園芸博の趣旨に合致しメインテーマの展開に相応しい内容であること	花とみどり、園芸文化に関するもの 食と農をテーマとしたもの 伝統文化、地域の風土に関連したもの	園芸博
国際博覧会の場を理解し国際社会や多様な主体が共有・共感できること	多様な価値観を理解し共有するもの 多様な参加と楽しみを提供するもの わくわく感・高揚感を創出するもの	国際博
博覧会の使命を理解し地球環境課題の解決に貢献する内容であること	社会課題の解決に挑戦するもの 参加者の学びにつながるもの 人々の行動変容につながるもの	GREEN×EXPO 2027

国際的な博覧会の場にふさわしく、
「多様な文化と価値観の共有」、「賑わいの創出と交流の促進」、「地域や国際社会への貢献」など
多様な主体が持つ個性や経験を活かしながら、
来場者や参加者が感動や気づきを得られるようなイベントプログラムを実施することで
本博覧会を訪れる来場者にたくさんの楽しみを提供するとともに、
人と自然、人と技術、人と人がつながる「幸せを創る明日の風景」を
分かち合っていきたいと考えております。

クラフト館・A　施設利用ガイド

2. 施設概要

2. 施設概要

1）催事施設一覧



施設名称	施設内容	屋内・屋外
クラフト館・A	屋内のイベントスペース（約100㎡）	屋内

2. 施設概要

2）施設概要

クラフト館・A



※2026年10月時点。今後変更の可能性がございます。

場所	屋内
仕様	受付・エントランス面積　:約34.0㎡ 来館者用作業スペース面積　:約95.2㎡ イベント主催者用厨房面積　:約18.9㎡ イベント主催者用バックヤード面積　:約19.5㎡ 延べ面積　:約206.3㎡ 床　面：タイルカーペット敷き 屋　根：有り 空調設備：有り スタッフ用トイレ:有り
音響設備	無し
映像設備	ワークショップ用モニター（2台）、手元投影用カメラ（1台）
照明設備	基本照明設備有り
通信環境	有線LAN・Wi-Fi設置予定
電源設備	有り
空調設備	有り
給排水設備	有り
ガス設備	有り（ガスコンロ用、キッチン・ワークショップエリア水栓用）
付帯設備	厨房機器（業務用冷凍冷蔵庫、ガスオーブン、電子レンジ、炊飯器、ガスコンロ、キッチンシンク等）、受付カウンター、来館者用作業台（6台程度）、来館者用スツール（40脚程度）、机・イス、ロッカー等

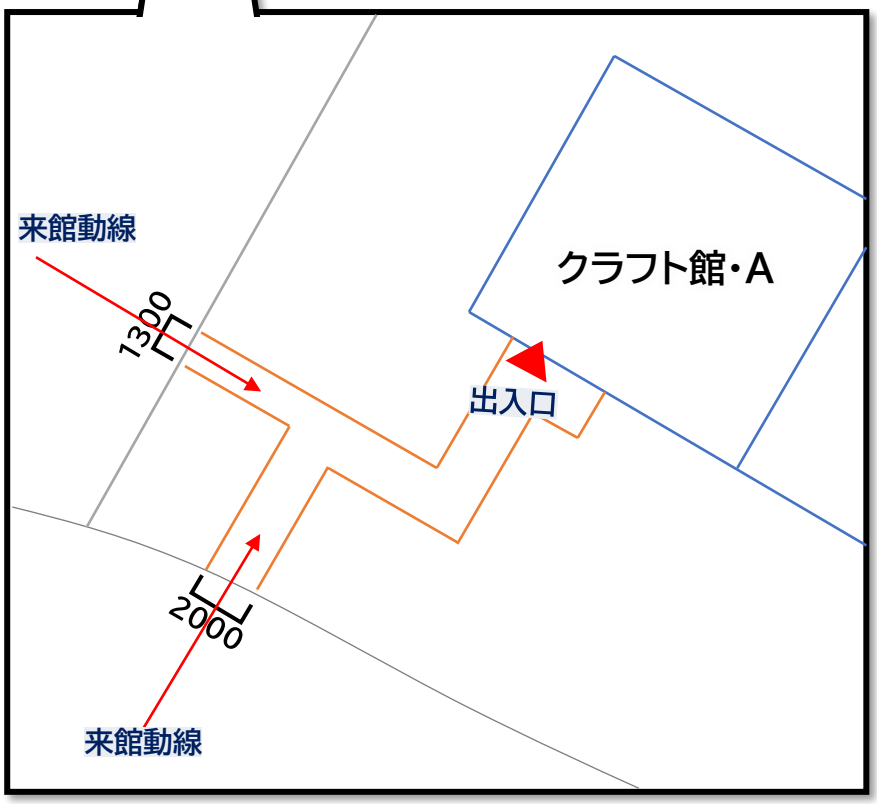
2. 施設概要

3）施設図面

(1)会場全体図

※2026年10月時点。今後変更の可能性がございます。



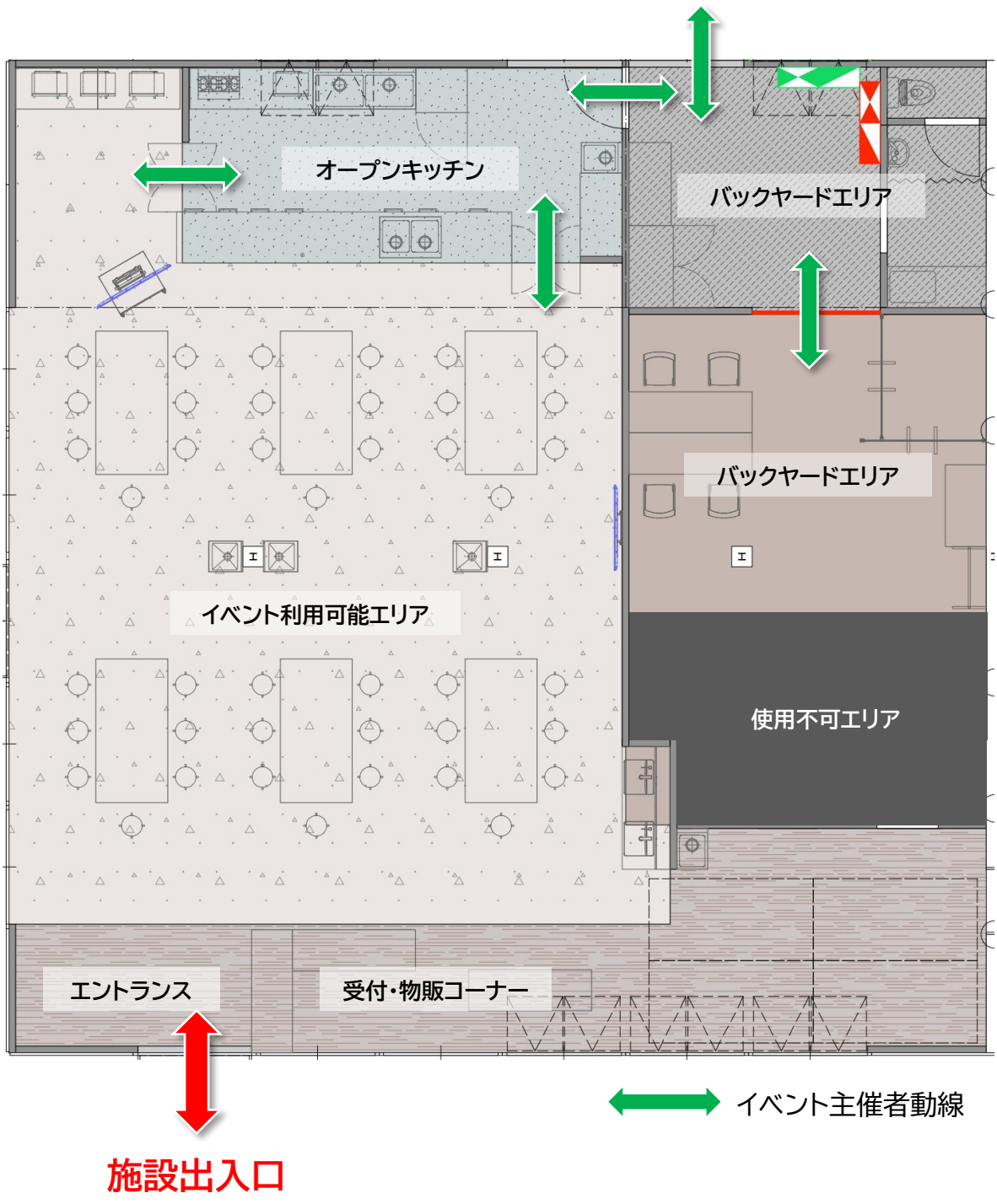


2. 施設概要

3）施設図面

（2）平面図

※2026年10月時点。今後変更の可能性がございます。



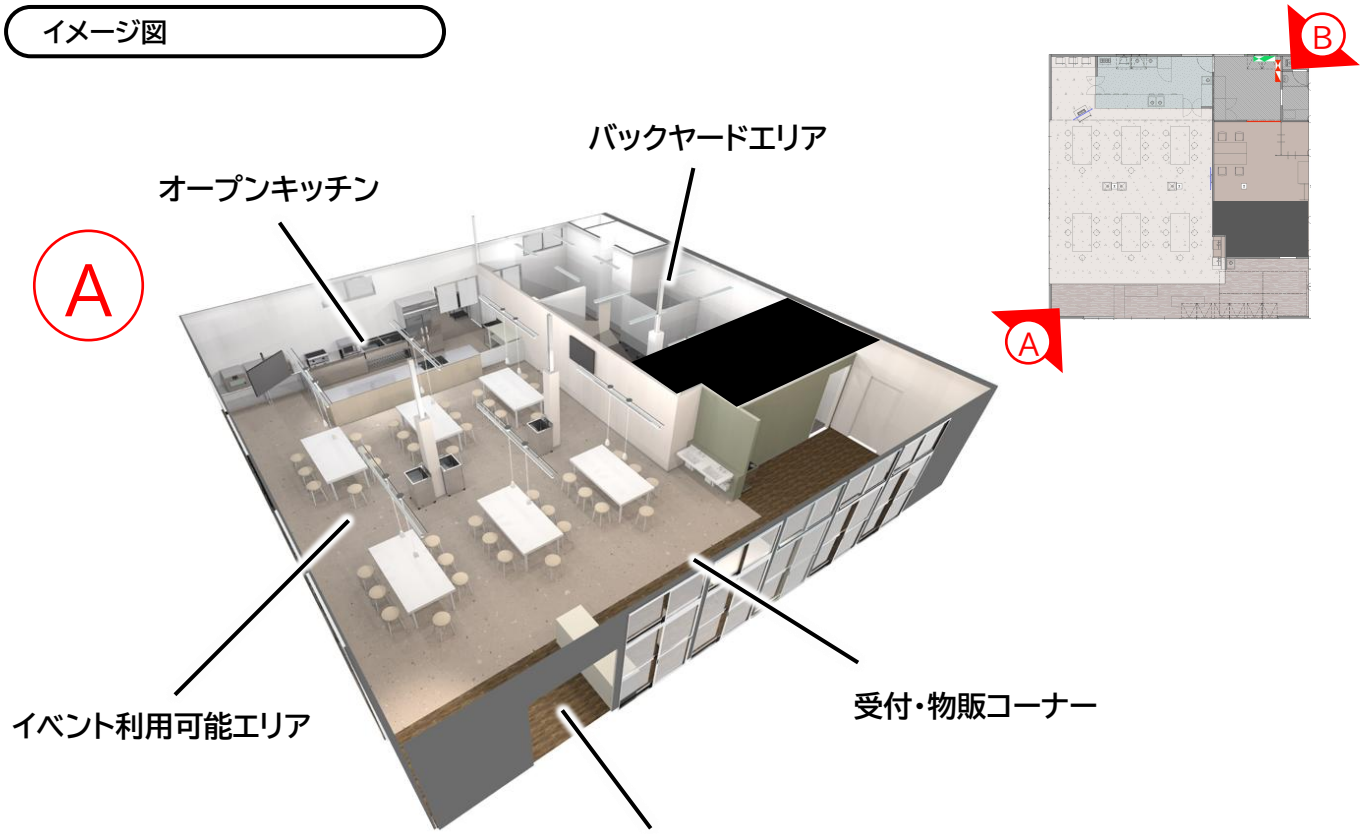
2. 施設概要

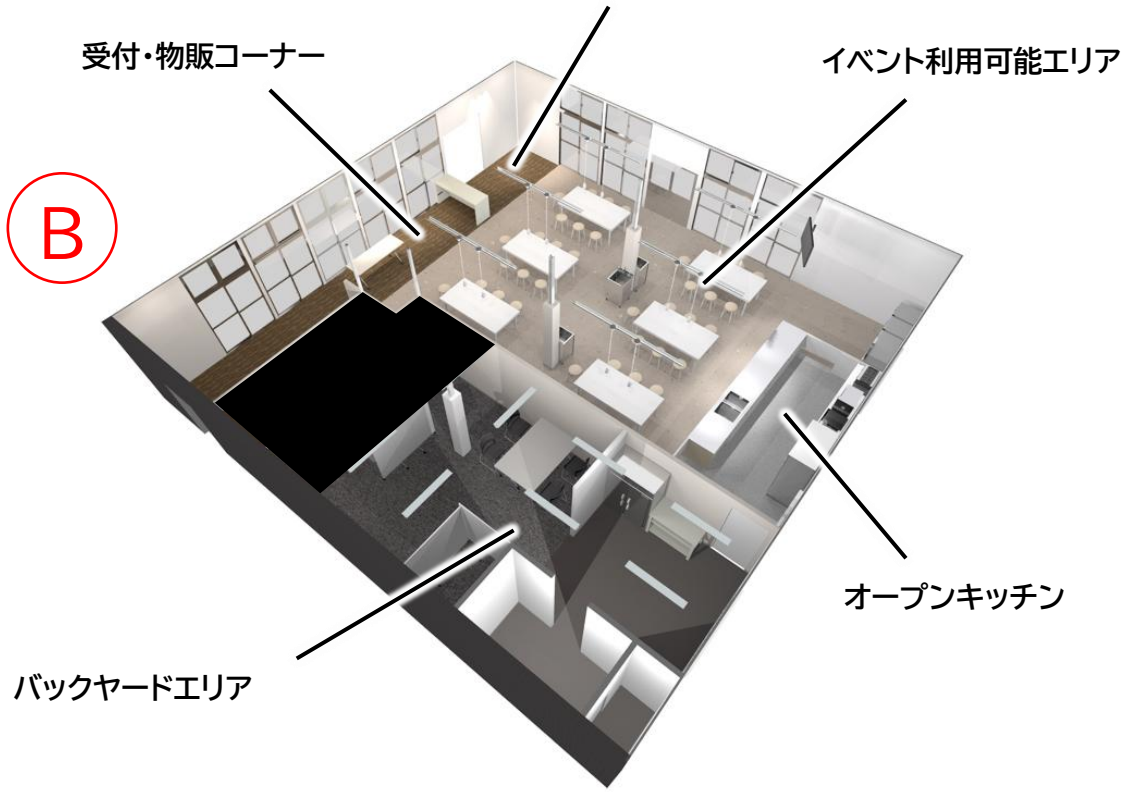
3）施設図面

（3）立面図

※2026年10月時点。今後変更の可能性がございます。

イメージ図





2. 施設概要

3）施設図面

（3）立面図

※2026年10月時点。今後変更の可能性がございます。



2. 施設概要

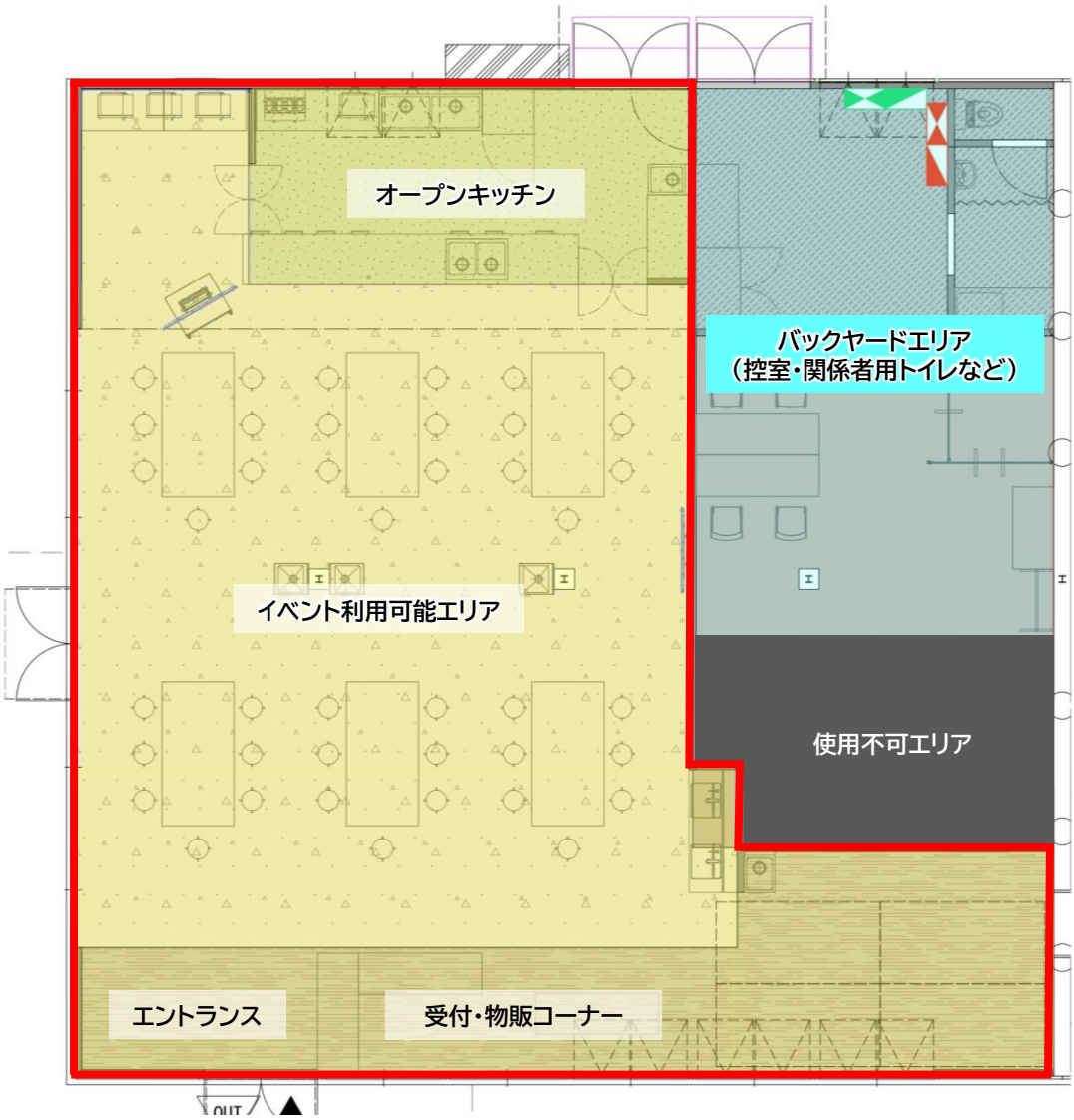
4)エリア

(1)使用可能な場所・スペース

※2026年10月時点。今後変更の可能性がございます。

クラフト館・Aで実施するイベントで使用できるエリアは、下記図面の赤枠部分です。
施設敷地外に、実施運営にかかる設備・備品・装飾物等を設置することはできません。
また、施設外に観覧者等の滞留が発生するおそれがある場合は、一般来場者の通行を妨げないよう、イベント主催者にて十分な誘導人員を配置し、立ち止まりや滞留が生じないよう誘導してください。

施設内には、イベント主催者が使用可能な控室・バックヤード・トイレがあります。
なお、トイレは施設の管理運営スタッフと共用となります。



(2)会場利用方法

- イベントの実施にあたっては、イベント内容、来場者数、客席・展示物・装飾物などの配置を踏まえ、必ず避難動線を確保した会場設計を行ってください。
- 避難動線や必要な消防上の対応は、イベント種別、会場レイアウト、設置物、火気・電気設備の使用有無などにより異なります。イベント主催者は、所轄の消防署へ事前に確認し、必要な届出・手続きなどを行ったうえで、会場設計を調整してください。

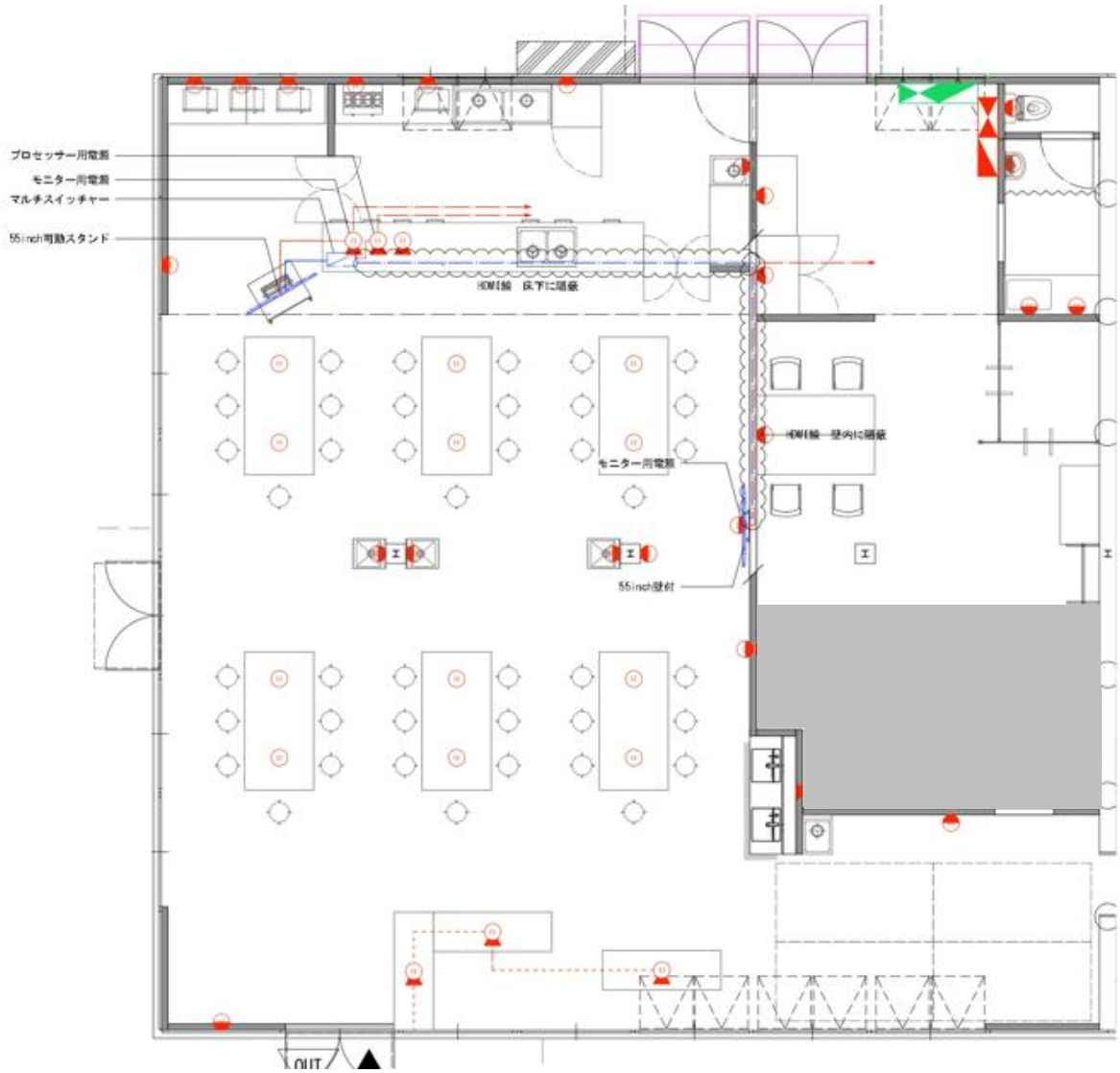
2. 施設概要

5)施設常設設備

(1)映像機材 一覧

※2026年10月時点。今後変更の可能性がございます。

No.	常設	メーカー	型番	数量
1	55型業務用ディスプレイ(可動式)	パナソニック	TH-55FQ1JA	1台
2	55型業務用ディスプレイ(壁付)	パナソニック	TH-55FQ1JA	1台
3	リモートカメラ	パナソニック	AW-UE5WG	1台
4	ディスプレイスタンド	ハヤミ工業	PH-926	1台
5	マルチスイッチャー	イメージニクス	US-41	1台
6				
7				



2. 施設概要

5）施設常設設備

（2）運営備品 一覧

※2026年10月時点。今後変更の可能性がございます。

- 以下に示した常設機材・備品は事前に申請のうえ、使用可能です。
- この他にイベント実施に必要な機材・備品等はイベント主催者でご用意ください。
- その際、使用機材が施設内の最大電気容量を超えないようにご注意ください。
  最大電気容量は調整中のため、決定次第あらためてご案内します。

No	備品	仕様	数量	備考
1	作業台	W2100mm×D1050mm×H720mm	6 台	
2	スツール	W280.5mm×D280.5mm×H450mm	42 脚	
3	受付カウンター	W1800mm×D600mm×H750mm	1 台	
4	物販・スタッフ用机	W1800mm×D600mm×H700mm	4 台	
5	バックヤード用イス	W520mm×D815mm×SH450mm	4 脚	
6	パントリー	W215mm×D615mm×H880mm	2 台	
7	スチールラック	W200mm×D600mm×H1800mm	1 台	
8	ハンガーラック	W900mm×D500mm×H1600mm	1 台	
9	A1アクリルパネル	W620mm×H846mm 穴あけ加工	5 枚	調整中
10	A1ポスターパネル		11 枚	調整中 エントランス横壁面掲示用



受付カウンター



作業台



スツール



パントリー



物販・スタッフ用机



バックヤード用イス



ハンガーラック



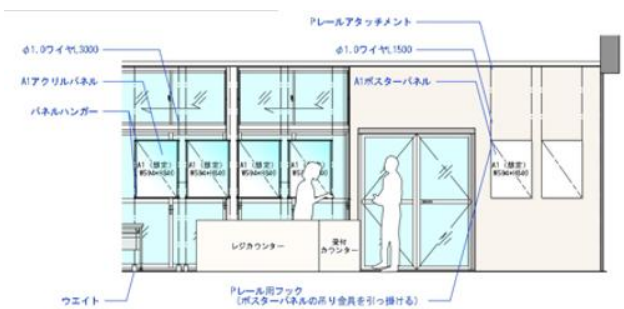
スチールラック



A1アクリルパネル



A1ポスターパネル



2. 施設概要

5）施設常設設備

（3）厨房機器 一覧

※2026年10月時点。今後変更の可能性がございます。

No	備品	仕様	数量	備考
1	可動式一層シンク	W550mm×D500mm×H850mm	3 台	給排水タンク式
2	二層シンク	W1500mm×D600mm×H800mm	1 台	
3	落込二層シンク	W900mm×D600mm	1 台	
4	手洗シンク	W450mm×D600mm×H800mm	1 台	
5	業務用冷凍冷蔵庫 小	W755mm×D650mm×H1950mm	1 台	冷凍室247L 冷蔵室224L
6	業務用冷凍冷蔵庫 大	W1200mm×D650mm×H1950mm	1 台	冷凍室390L 冷蔵室390L
7	電子スチームオーブンレンジ	W494mm×D435mm×H370mm	3 台	
8	電子レンジ	W510mm×D360mm×H306mm	1 台	
9	ガステーブルコンロ	W600mm×D450mm×H200mm	1 台	
10	ワークテーブル	W1200mm×D600mm×H800mm	2 台	
11	引出付キャビネットテーブル	W1800mm×D600mm×H800mm	1 台	
12				
13				
14				
15				

サプライヤーリストについて

- イベントに必要な追加機材・備品などの手配は、サプライヤーリスト掲載のサプライヤーへご依頼ください。
- 掲載事業者の利用を希望する場合は、イベント主催者の責任と費用負担において、各事業者と直接調整・手配を行ってください。
- サプライヤーリストは、イベント主催者による手配先検討の参考としてご案内するものであり、掲載事業者の利用を義務付けるものではありません。

2. 施設概要

6)利用料金

(1)施設利用料

※2026年10月時点。今後変更の可能性がございます。

利用申し込み時間に応じた施設利用料を、事前にお支払いいただきます。
イベント主催者都合で利用をキャンセルされた場合は、施設利用料の返金はできません。
※キャンセルポリシー、支払時期については別途(施設利用規約にて)ご案内します。

施設名	利用区分		施設利用料(税込)		時間外利用料(税込)
			1枠	基本利用時間	0時～9時 21時～24時
			3時間	9時～21時	1時間ごと
クラフト館・A	3時間	① 9時～12時 ②12時～15時 ③15時～18時 ④18時～21時	7,500円	30,000円	3,200円

利用時間の考え方

●施設の基本利用時間は、9時～21時の間です。
●利用時間は、すべての関係者の入館から退館までの時間を含みます。

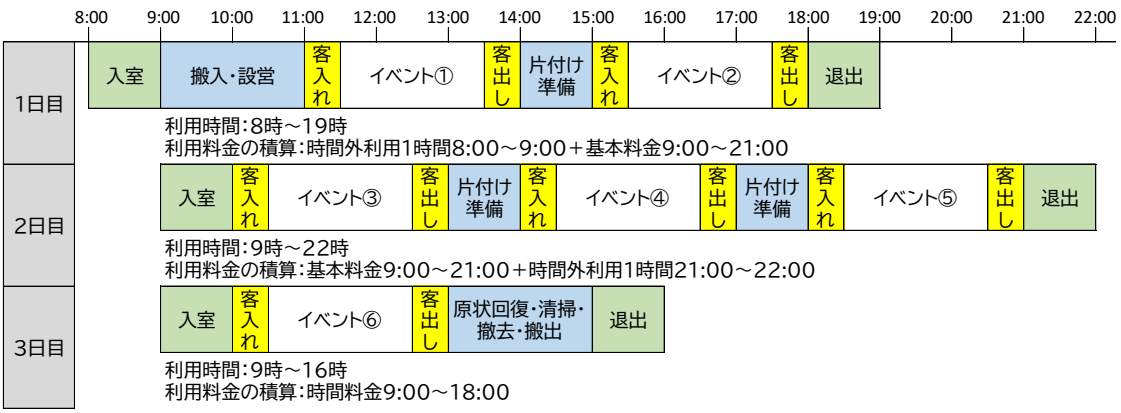


最大利用時間・利用料積算の考え方

●1日の時間外利用を含む最大利用時間は、0時から24時までです。
●日を連続してご利用の場合は、中日については利用希望時間に関わらず、
基本利用時間(9時～21時) の借り上げを適用し、計画に応じて時間外利用分を加算します。
●原則として、イベント終了後は24時までに完全退館をお願いします。
※申し込み日程を超えた利用はできません。

シミュレーション

(例)3日間、イベントを下記の利用時間計画で利用の場合



2. 施設概要

6）利用料金

（2）時間外人件費

※2026年10月時点。今後変更の可能性がございます。

時間外の施設利用には、時間外施設利用料に加えて、施設管理に関わるスタッフの時間外人件費および宿泊・交通費が発生します。

管理スタッフ 時間外人件費

	項目	時間外追加人件費（税込）	
		0:00～9:00/21:00～24:00	
		3時間まで 基本料金	4時間以降 1時間ごと
①	イベント管理ディレクター （1名）	33,000円	7,700円／1h
②	施設管理者 （1名あたり）	配置なし	
③	施設管理ディレクター （1名）	27,500円	6, 050円／1h
④	テクニカルスタッフ （1名あたり）	配置なし	
⑤	設営・撤去スタッフ （1名あたり）	20,350円	4,950円／1h

	項目	0:00～7:00 、 23:00～24:00
ー	深夜宿泊交通費	追加料金 25,300円/人

※①については、イベント主催者のすべての作業時間にかかります。
※③については、イベント主催者の作業内容に応じて必要な時間配置します。
　主に、控室管理やバックヤードでの備品貸し出しなどを担当するスタッフです。
※⑤については、常設設備の仕込み替えなどが発生した場合に、必要な人員を必要な時間配置します。

警備員

当施設には警備員は常駐しておりません。
イベント実施に必要な警備員は、イベント主催者にてご用意ください。
必要に応じて、サプライヤーリストをご案内します。

2. 施設概要

6)利用料金

(3)追加人件費(基本時間内)

※2026年10月時点。今後変更の可能性がございます。

9:00～21:00の基本時間内に設営・撤去を行う場合でも、以下のような場合に、追加人件費が発生します。

・イベント主催者による設営、撤去、原状回復が行えず、施設管理スタッフによる対応が必要となる場合。
・イベント内容またはイベント主催者の要望に応じて、通常の施設管理体制を超えて人員を配置する場合。
・常設設備がある施設において、移動、撤去、復旧、仕込み替えなどを施設管理スタッフが行う場合。

管理スタッフ 時間内人件費

	項目	時間内追加人件費(税込)	
		9:00～21:00	
		3時間まで 基本料金	4時間以降 1時間ごと
①	テクニカルスタッフ (1名あたり)	19,800円	4,620円／1h
②	設営・撤去スタッフ (1名あたり)	14,300円	3,300円／1h

※イベント主催者の作業内容に応じて必要な人員を必要な時間配置します。

(4)電気使用料

施設の照明や、冷蔵庫等の持ち込み機材を利用した際の電気使用料については、(1)施設利用料の内に含まれるため、原則として、追加の支払いはありません。

(5)水道使用料

施設の水道やトイレを使用した際の水道使用量については(1)施設利用料の内に含まれるため、原則として、追加の支払いはありません。、

(6)ガス使用料

詳細については調整中のため、決定次第あらためてご案内します。

2. 施設概要

6)利用料金

(7)キャンセルポリシー

※2026年10月時点。今後変更の可能性がございます。

中止判断に伴う項目別返金率

・返金の対象については、本博覧会会場が閉場し、かつ、協会が本事業の実施が困難と判断する場合に限る。
・返金の対象は、施設利用料のうち未使用(使用しなかった利用区分(日数や時間))分のみとなる。
・使用した利用区分(日数や時間)については返金の対象ではない。※閉場の場合の撤去に使用した時間については対象とする。

中止を判断するケース	項目別返金率(返金対象額に対して)		返金対象外	
	施設利用料		その他費用	
	基本利用時間	時間外	延長・追加人件費・宿泊費	持込電気使用料
(1) 本博覧会会場が閉場となり、本事業の実施が中止となったとき※1	100%	100%	発注後のキャンセルは不可。※4	使用した分の精算となる。※5
(2) 不可抗力に至らない災害などであっても、協会が本事業の実施が困難と判断するとき※2	100%	100%		
(3) イベント主催者から本事業の実施が困難であるとの申出を受け、協会が承諾したとき※3	0%	0%		

※1 本博覧会会場の閉場により中止となった場合、撤去の時期および方法については協議のうえ、協会の指示に従うものとする。また、撤去に使用した時間の施設利用料については、返金対象となるものとする。
※2 協会が本事業の実施が困難と判断した場合、撤去する時間については協議のうえ、協会の指示に従うものとする。また、撤去に使用した時間の施設利用料については、原則返金対象とはならない。
※3 イベント主催者は、中止を検討する項目(屋外の場合の雨天など対応)については、あらかじめ協会へ報告するものとする。
※4 その他費用における延長・追加人件費(宿泊費含む)については、臨時で手配する人件費のため、発注後は支払いが必要となる。
※5 持込電気使用料については、使用した分の精算となるため返金対象とはならない。

クラフト館・A 施設利用ガイド

3. イベント細則

3. イベント細則

1）持込禁止物・禁止行為（イベント主催者向け）

本博覧会では、会場内の安全確保、秩序維持を目的に、会場内への持ち込み禁止物を規定します。
本規定は、一般来場者を除く開催者、公式参加者、ボランティア等、 業務もしくは自主活動で博覧会を訪れる全ての関係者に適用されます。

イベント主催者が、イベントの実施運営や演出のために持ち込む場合もその対象となります。
ただし、用途や持ち込み内容によって、事前に管理運営室（協会）との協議や所轄消防署などへの申請・承認を経て、可能となる場合があります。その際、詳細資料や仕様図などを提出していただくことがあります。

- **『液体』、『刃物など』、『その他』に該当する持込禁止物**を持ち込む場合には、持ち込み申請を行い、管理運営室（協会）の承認を得ない限り、持ち込むことはできません。
- AD証申請時の個人情報登録の項目には、会場への持込禁止物持ち込み申請も含まれておりますので、『関係者向け持込禁止物・禁止行為等に関する規約』をご確認のうえ、登録申請をお願いします。
- 内容によっては管理運営室（協会）との協議を必要とします。
- なお、実施計画書類に記載されていない持ち込み物があった場合は、直ちに使用を禁止または会場外へ搬出していただくことがあります。

持込禁止物（イベント主催者向け）

持込禁止物（危険物など）	• 火薬類、危険物のほか、爆発、発火、有毒ガス発生などのおそれがあるもの • 武器、凶器、刃物類（銃、刀、ナイフ、はさみなどの刃物類、ライフル、手錠、水鉄砲、噴霧器など） ※製作物、模倣品、おもちゃ、手作り品を含む • 催涙スプレー、その他人の身体に害を及ぼし、または人に不快感を与える原因となり得るもの • 花火、ガスボンベ、多量のライター・マッチなどの可燃物 • ゴルフクラブ、バット、ラケットなど、凶器となり得るもの • 虫取り網など、長大な棒状のもの • その他法令などにより所持が禁止されているもの
持込禁止物（その他）	• 酒類全般（容器や開封未開封問わず全て）※営業施設の販売用は除く。 • 瓶、缶類の飲料（食物アレルギー等のお食事に制約がある場合を除く） ※営業施設の販売用は除く。 ※マイボトル、水筒を推奨、ペットボトルは可 • 補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）を除く動物及び植物 • ハードケース、スーツケース、キャリーケース等（サイズを問わず全て禁止） • 自転車、特定小型原付等のモビリティ、小型無人機（ドローン等） • その他会場の秩序及び安全対策上不適切と認められるもの • その他法令等により所持が禁止されているもの ※機器で検査可能な最大サイズ（600mm×400mm×900mm）を超える荷物については検査に時間を要するため、持込に際しては留意すること ＜自転車等の持込の際の禁止事項等 ＞ 自転車・特定小型原付等について • 業務上必要であると特別に協会が許可したものは、車両に積載のうえ、車両ゲートからの持込のみ可能。その他のゲートからの持込は禁止 • 自転車・特定小型原付等に乗って、又は自転車・特定小型原付等を押しての持込は禁止 • 自転車・特定小型原付等を折りたたんでの入場や折りたたんだものを袋に入れての持込も禁止 自転車以外のもの（ローラースケート、ローラーシューズ、スケートボード、キックボード等）について • 持込の際は、袋に入れるなど来場者に見えないようにすること ※高齢者、障がい者などの歩行補助機材は、滑走行為を行うものではないが、来場者の安全確保の上で利用すること

3. イベント細則

1）持込禁止物・禁止行為（イベント主催者向け）

禁止行為（イベント主催者向け）

禁止行為 （危険行為など）	• 人、車両、モビリティ等の通行を妨げ、又は通行の支障、危険となる行為をする こと • 人の身体又は物件に害を及ぼす恐れのあるものを携行し、又は害を及ぼす恐れの ある行為をすること • 物質（気体、液体、粉末その他）をまき散らす等の行為、又は放置をすること • 立入禁止場所に立ち入ること • 場内で遊泳及び釣り行為を行うこと • ローラーシューズ、ローラースケート、スケートボード、キックボード、自転車等による滑走行為を行うこと
禁止行為 （破壊行為など）	• 出展物、施設、備品、その他本博覧会の管理物品を損壊し、又は汚損すること • 植物、動物、昆虫等の採取、又は損傷すること （会場内で提供される体験等に関 する行為を除く。） • 鳥獣魚介類に餌を与える行為、又は捕獲や殺傷行為をすること
禁止行為 （使用・配布など）	• 拡声器、メガホン、スピーカー等、騒音を発する恐れのあるものを使用すること • 大きなプラカード、のぼりその他これらに類するものを掲示し、 又は携行すること （添乗員等の手旗（45 ㎝×45 ㎝程度のもの）は認めるが、ほかの来場者の迷惑にならないように注意すること。） • ポスター、ビラ、チラシ等を掲示し、又は配布すること • アマチュア無線機、特定小電力無線機、トランシーバー等の無線通信機器（携帯電話、ラジオ、パソコン、タブレットを除く。）、ドローン等の小型無人機、ラジコン玩具を使用すること ※博覧会会場内において自敷地内外を問わず、イベントや業務などで『無線機・ラジオマイク・Wi-Fiアクセスポイント』を用いるには、無線機利用申請を行う必要がある。対象の無線機と手続きに関しては、「無線機器利用に係るガイドライン」を参照する こと。
禁止行為 （その他）	• P21に記載の持込禁止物（危険物等）を場内で販売すること • 販売、提供場所のエリア外で飲酒すること • 指定された場所以外に紙屑、容器、その他の廃棄物又は汚物を捨てること • 家庭ごみなど、場外からのごみを場内に持ち込み廃棄すること • 指定場所以外での営業行為、物品等の陳列（記念品等の配布を含む。）及び商業目的の撮影、録音をすること • 指定場所以外での喫煙、その他火災予防上危険な行為 • 寄付の募集、署名活動、勧誘行為、又は調査（サンプリング・アンケート等）やその回答を求めること • 集団示威運動、集会、演説 • 政治・思想・宗教的な主義・主張を伴う行為 • 公共の秩序・道徳に反する行為 • 一切のハラスメント行為 • 植物を植えること、又は植物の種子を蒔くこと（会場内で提供される体験等に関する行為を除く。） • 来場者の通行や観覧、開催者の運営を妨げる座り込みやスペースの占有行為 • テント類を設置、使用すること • 上記に定めることのほか、会場内の公序良俗に反する服装、平穏を乱す行為 入場拒否・退場措置 開催者は、博覧会会場での公共の秩序と安全を維持するために、以下の者に対して、入場拒否・退場措置を実施することができる。 • 本規約に基づいて、開催者並びに開催者が指定した者が行った指示を守らない人 • 酔っている又は攻撃的、暴力的な行動と言論のために博覧会会場での 公共の秩序と安全の維持に支障があると判断され、 他の人とのトラブルや不快感を引き起こすおそれがある人 • 無効な関係者入場証（AD証）及び偽物の関係者入場証（AD証）で 入場しようとする人 • その他、開催者が、会場内の安全確保、秩序維持、テロ対策等の観点から、博覧会会場運営に好ましくないと判断した人 持込禁止物の扱い • 入場時に持込禁止物を所持していることが判明した場合、開催者は 博覧会会場外の適切な場所での保管を指示、または処分することができる。 • 規定の持込禁止物、禁止行為であっても、博覧会会場における 管理運営に必要と認められる持込物、行為については、開催者がその持込、 実施を認める場合がある。 • 規定する物の持込、行為の実施を行うにあたっての必要な手続きは別途定める。